

学習目標		
(1)きまりを守り、自分の役割に責任をもって行動する子どもを育てる。		
(2)自他の良さを認め合い、進んで人の役に立つことをする子どもを育てる。		
(3)生活を振り返り、目標を立て、あきらめず最後までやり遂げようとする子どもを育てる。		
月	単元・題材名	学習内容
4	折り紙でたくさんの笑顔を 友の肖像画 さわってごらん、ぼくの顔	・困難な状況でも希望を持つことを忘れずに努力し続けることの素晴らしさを知り、目標に向かって努力することの大切さを考える。 ・正一からの手紙が来なくなったことで、友情がとだえそうになった和也の気持ちを通して、協力して学び合い磨き合い、高め合うような真の友情を築くことの大切さを考える。 ・藤井さんの実話から、差別や偏見のない社会を目指し、公正・公平に接することの大切さを考える。
5	すり切れたわらじ 星野君の二塁打 命をつなげ！ ドクターヘリ	・金次郎の行動や気持ちを考えることを通して、人のためになるような優しい行いを進んですることの大切さを考える。 ・指示を守らなかった星野君の行動に対する監督の決断とその理由から、学級や地域社会等の身近な集団において、自分の立場を理解し、責任を果たすことの大切さを考える。 ・一つの命を守るために力を尽くす多くの様々な人々の活動を通して、生命がかげがえのないものであることを理解し、行動することの大切さを考える。
6	これからの広島 だから言ったのに 人間をつくる道 一剣道一 その思いを受け継いで	・平和なまちとはどのようなまちなのかを考え、平和な社会づくりに参画することの大切さを考える。 ・普段の生活習慣が原因で、移動教室で失敗をした順一の姿から、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し改めることの大切さを考える。 ・主人公「ぼく」の気持ちと行動を通して、時と場をわきまえ、相手を尊重する気持ちをもって、心のこもった接し方をすることの大切さを考える。
7	小石丸がつなぐ千年の糸 作業服のノーベル賞 美しい空の勇者	・じいちゃんのお見舞いを続けた「ぼく」の気持ちを考えることを通して、家族がかげがえのないものであることを理解し、家族のために役立つことをする大切さについて考える。 ・優れた文化遺産を保存するために努力している人がいることを知り、受け継ぎ伝えることの重要性と、伝統文化の継承のために、今の時代を生きる自分ができることについて考える。 ・田中耕一さんの幼少期の話から、自分の長所を生かして積極的に生きていこうとすることの大切さを考える。
9	天災は忘れたころにやってくる 思いやりのかたち イエローカード エルトウールル号のきせき	・緊急時に淵上さんのとった行動の背景を考えながら、集団の中での役割の大切さを知り、責任を持って自分の仕事をやり遂げることの大切さを考える。 ・寺田寅彦の指摘する危機管理について考えるとともに、望ましい生活習慣を積極的に築き、自ら節度を守り節制に心がけることの大切さを考える。 ・主人公の行動や心の動きを通して、相手の置かれている状況を理解し、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を行うことの大切さを考える。 ・監督と兄の言葉を思い出している翔太の気持ちを考えることを通して、社会生活を送るうえできまりが必要であることを理解し、きまりを守ることの大切さを考える。
10	私の知らないところで 高とびの選手はだれがなる ペルーは泣いている 人と自然と	・日本とトルコが互いに助け合ったことで友好関係を築いていったことを知ることを通して、他国の人々や文化を大切にし、思いやりの心をもってともに支え合うことの大切さを考える。 ・自分たちの送ったメールによって、絵里子を傷つけたハルカとミキの行動から、責任について考え、自律的で責任のある行動をとることの大切さを考える。 ・同じ立場になって、互いのことが理解できた美奈と裕子の心の動きを通して、自分の考えを伝えることや、相手の立場に立って考えることの大切さを考える。 ・アキラが他国の文化や考え方の違いを超えて理解を得た姿を通して、世界の人々と積極的に接し、国際親善に努めることの大切さを考える。 ・マングローブのすばらしさをうたえながら、植林活動をしている「私」の生き方から、自然環境をよくしていこうとすることの大切さを考える。
11	ヤクーバとライオン オリンピックのくれたもの 米百俵 カザルスの鳥の歌	・ライオンを逃がすことを決めたヤクーバの気持ちを考える事を通して、誠実に生きることの大切さを考える。 ・タカコさんが頑張ってオリンピックのボランティアをやっている姿を考えながら、ボランティア活動の役割について考え、公共のために役立とうとすることの大切さを考える。 ・虎三郎が長岡を思う姿を通して、我が国の発展に尽くした先人の業績のおかげで受け継がれている歴史や文化を尊重し、郷土を愛することの大切さを考える。
12	雪の写真家ベントレー おばあさんの新聞 山の畑には草をしけ	・徳永兼一郎さんの、死の直前までチェロに向き合う姿から、生命の有限性について考え、限りある生命を精一杯生きようとすることの大切さを考える。 ・雪の結晶の美しさをみんなに伝えようとするベントレーの気持ちを通して、物事を探究しようとすることの大切さを考える。 ・てつおが、みはらのおじいさんとおばあさんからしてもらった行為を通して、日々の生活が様々な人に支えられたり助けられたりしていることに気付き、感謝することの大切さを考える。
1	平和への祈りを舞踊にこめて 放置自転車 青の洞門	・茶農家のおじいさんやおばあちゃん、お父さんの話を聞いたときのかずこの気持ちを考えながら、持続可能な社会の実現に努めようとすることの大切さを考える。 ・森下洋子さんの生き方に触れ、自分の夢に向かって努力することの大切さを考える。 ・母の言葉をきっかけに、考えをめぐらせる正人の気持ちから、一人一人がきまりを守ることで実現できる社会について考え、自分の義務を果たすことの大切さを考える。
2	銀のしょく台 だれが拾うの？ 火の夜の赤ちゃん	・洞門にかける了海の思いや、了海の思いを受け止めた実之助の心の変容を考えることから、人間としての在り方を見つめ直すことの大切さを考える。 ・司教の行為を通して、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重し、相手の過ちを受け止め、適切に対処していくことの大切さを考える。 ・学校を支えているのは自分たち自身であることに気付くとともに、最上級生としての役割を自覚し責任を果たすことの大切さを考える。
3	羊飼いの指輪	・空襲の中で誕生した赤ちゃんを守ろうとする病院の人々の姿を通して、自他の生命を尊重することの大切さを考える。 ・老人と若者のやりとりを自分たちで考えることを通して、自由な考えや自由な行動の持つ意味、その大切さを実感し、自律的で責任ある行動をすることの大切さを考える。
・道徳科の授業においてみられる、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、個人内評価として文書で記述します。		
評価の方法		
会話 ノート 作文 質問紙等		